

発行所 〒802-8651  
北九州市小倉北区紺屋町13-1  
(財)毎日新聞西部社会事業団  
発行人 田上 猛  
電話 093-551-6675 ファクス 093-541-8009  
E-mail: s-maiswf@cotton.ocn.ne.jp  
郵便振替 01770-2-40213  
URL http://www.mainichi.co.jp/seibu\_shakaijigyo/

# 08年度事業約4千万円規模

理事会  
評議員会  
事務局の組織強化も承認

財団法人・毎日新聞西部社会事業団(理事長、淵上忠之・毎日新聞西部本社代表の08年の定例理事会と評議員会が3月と5月に開催され、約4千万円規模の08年度事業計画とその他の予算、07年度事業報告と決算が、それぞれ承認された。また新公益法人制度の移行申請が12月1日からスタートするに伴い、事務局の組織強化も承認された。

【指定寄付事業】にいた交流キャンプ 小児がんなどで入院する子どもたちや、難民救済基金、小児がん基金のほかに、大規模災害被災者救済基金がそれぞれ、現在、大規模な被害・犠牲が出ているミャンマー・サイクロンと中国・四川大地震の救援金を募集中。

州、佐賀、大分の「いのちの電話」やホームレス支援団体、交通遺児を支える会、九州盲導犬協会、あしなが育英会など、前年度(17年度)並みに助成する方針。

| 2007(平成19)年度収支決算 |            |            |             | (単位: 円) |
|------------------|------------|------------|-------------|---------|
| I 収入の部           |            | 07年度決算     | 前年度決算       | 前年度比    |
| 基本財産利息収入         | 86,109     | 16,200     | 69,909      |         |
| 特定資産配当金収入        | 7,571,351  | 7,850,457  | ▲ 279,106   |         |
| 寄付金収入            | 57,584,679 | 40,212,596 | 17,372,083  |         |
| 指定寄付金            | 11,551,444 | 2,510,501  | 9,040,943   |         |
| 一般寄付金            | 46,033,235 | 37,702,095 | 8,331,140   |         |
| 雑収入              | 3,355,901  | 4,322,617  | ▲ 966,716   |         |
| 収入合計             | 68,598,040 | 52,401,870 | 16,196,170  |         |
| II 支出の部          |            |            |             |         |
| 事業費支出            | 43,196,708 | 30,127,378 | 13,069,330  |         |
| 指定寄付事業費          | 11,881,961 | 2,144,595  | 9,737,366   |         |
| 児童福祉費            | 4,672,560  | 4,459,450  | 213,110     |         |
| 障害者福祉費           | 2,445,532  | 2,605,482  | ▲ 159,950   |         |
| 医療福祉費            | 300,000    | 0          | 300,000     |         |
| 福祉団体助成費          | 6,040,105  | 4,855,605  | 1,184,500   |         |
| 啓発事業費            | 2,171,582  | -          | 2,171,582   |         |
| 歳末事業費            | 14,275,842 | 14,246,466 | 29,376      |         |
| 毎日福祉顕彰費          | 1,409,126  | 1,815,780  | ▲ 406,654   |         |
| 管理費支出            | 13,188,450 | 12,807,925 | 380,525     |         |
| 退職給与引当金          | 10,000,000 | 0          | 10,000,000  |         |
| 支出合計             | 66,385,158 | 42,935,303 | 23,449,855  |         |
| III 投資活動運用収入     | 1,799,706  | 0          | 1,799,706   |         |
| 当期収支差額           | 4,012,588  | 9,466,567  | ▲ 5,453,979 |         |
| 前期繰越収支差額         | 52,930,937 | 47,416,361 | 5,514,576   |         |
| 次期繰越収支差額         | 56,943,525 | 56,882,928 | 60,597      |         |

## 07年度 寄付金収入がやや好転



## 青空の下 弾ける笑顔！

児童養護施設や知的障害児施設の子どもたちがスポーツやゲームの第41回アイリンピック大会が5月31日、同県防府市の防府スポーツセンターで開かれた。毎日新聞西部社会事業団も毎年、助成金を出し、後援している。大会は5月の「児童福祉施設や障害児施設の子どもたちが約2700人が参加。さわやかな青空の下、大玉転がしやリレーなど多彩な競技が繰り広げられた。施設対抗のムカデ競走では、転倒してもすぐさま起き上がる選手たちの頑張り、観衆から温かい声援と拍手が送られた。ボランティア約120人も介助などに活躍した。ある施設職員は「子どもたちは普段と違う笑顔だった」と話した。

月19日の第2回理事会・評議員会で承認された。前年度の一般福祉事業は47件、うち新規事業は5件だった。この中で、あしなが育英会への助成は、初めて受け付けを始めた。母の日・父の日募金を原資にしたもので、募金総額の半分58万円余を助成した。また、タイ国ソーシャルワーカー育成プロジェクトへの助成は、熊本市内の福祉関係者による実行委員会が福祉を学ぶタイ人学生を招き、同県内で約1カ月間、福祉施設で宿泊研修した事業に資金援助したもの。決算関係では、収入の柱となる寄付金収入が、前年度比1737万5千円増の737万5千円とやや好転した。これにより収入総額も同約1620万円増の685万9千円になった。支出は海外救済金など指定寄付事業が1188万5千円、福祉団体助成費604万円、児童福祉費467万円など、事業費支出は総額4319万円余。管理費支出1318万円、投資活動収益などを含めた収支差額401万円余は翌年度に繰り越した。

# 届け！ボクらの願い

## 澄んだ歌声響く



フィナーレで観客に手を振る子どもたちや出演者

小児がんなどと闘う子どもたちを励まそう——そんな願いを込めた「生きる」小児がん征圧「天使の泉」チャリティー・ワンコイン・コンサートが6月8日、佐賀県鳥栖市の中央公民館で開かれ、出演した子どもたちが会場で集めた小児がん征圧募金9万3437円を当事業団に届けてくれた。

## 鳥栖市で “生きる” 「天使の泉」コンサート開催

「生きる」は、毎日新聞と毎日新聞社会事業団が96年から始めた小児がん征圧キャンペーンのタイトルで、コンサートにはキャンペーン当初から参加しているシャyson歌手の清水康子さんと椿井亘さん、岩花淑子さん、津軽三味線の中西紫鳳さんらが出演した。清水さんの「オーシャンゼリゼ」百万本のバラ」などの澄んだ歌声が会場内に響き、訪れた約400人の聴衆を魅了した。フィナーレでは地元の小中学生約100人も舞台上に上がり、椿井さんが訳したシャyson「小さな言葉」を合唱した。「天使の泉」は小児がん征圧に尽力した俳優、渡哲也さんが命名した。

## タイ人学生招き福祉研修

## 本事業団も資金協力

日本とタイの国交樹立120周年の今年、熊本県内で3、4月にかけての約1カ月間、タイ国の大学生を招いた初めての福祉研修があった。当社会事業団も資金協力し、福祉関係者による実行委員会方式で実現した。実行委の塘添亘男代表は、熊本市の人形劇団「熊本のたけのこ会」の創設者の一人。会が06年1月、タイ南部のスマトラ沖大地震の津波被災地を慰問公演した際、現地の福祉の実態も見て、貧困に被災者が追い討ちをかけた。福祉どころではない現実を目の当たりにし、物質的な支援もさることながら、将来を見据えた復興には「福祉分野の人材育成が欠かせない」ことを痛感。帰国後、塘添さんは「福祉を志す若い学生を日本に招き、学ばせたい」と考え、ソーシャルワーカー育成支援プロジェクト事業を計画。福祉関係の知人、友人らに協力を呼び掛け、実行委を立ち上げた。研修は3月16日から4月13日の29日間、タイのタマサート大学の福祉学部6人が来日。熊本県内の特別養護老人ホームと児童養護施設の各3カ所に分散宿泊しながら、実践的な研修を重ねた。学生の一人は「日本は福祉のより制度が充実した。福祉を志す人にとって比較的研究してみたい」と話していた。一行は事前研修などを経た後、2人ずつ3班に分かれて、泊研修をした。

熊本県内

## 毎日新聞社と毎日新聞社会事業団は「ミャンマー・サイクロン救済金」を希望します

「四川大地震救済金」を希望します。よろしくお願います。ミャンマー・サイクロン救済金」が「四川大地震救済金」と明記して、〒802-8651 北九州市小倉北区紺屋町13の1、毎日新聞西部社会事業団あてに現金書留か郵便振替01770-2-40213でお願いします。申し訳ありません。勝手ながら物品はお受けできません。

## 1943万3千円贈る

## バン格拉水害救援金

07年11月、世界最貧国の一つといわれるバングラデシュ南部を襲った超大型サイクロン「シドル」による被災者救援のための「バングラ水害救援金」は08年3月末までに、現地で救援活動や復興支援活動をしている日本赤十字社や日本ユニセフ協会をはじめ、ジャパンプラットフォームやAMD(AMD)などのNGOなど14団体を通じて、全国各地から寄せられた1566件、1943万3344円を被災地に届けた。西部社会事業団への募金は101件、594万4514円だった。

## 小児がん征圧キャンペーン

小児がん征圧募金の07年度配分贈では、九州大学病院で治療する子どもたちの親の会「すまいる」(北九州市、益田千歳代表)▽久留米大学病院での小児がん経験者の会「スマイルデイズ」(同県八女市、延哲也代表)▽九州がんセンターで治療の子供

## 総額100万円を贈呈

## 助成金含め5団体へ

07年度配分



西部社会事業団の小児がん征圧募金の贈呈式

骨髄バンクの普及に努める「九州骨髄バンク推進連絡会」(福岡市、北村猛代表)の計4団体に70万円を贈呈。このほか、入院治療を続ける子どもたちに付き添う家族に宿泊場所を提供するボランティア団体「福岡ファミリーハウス」(福岡市、徳永和夫代表)には30万円の医療福祉助成金を贈った。



研修の開始前に母校、タマサート大学の旗を手に記念撮影するタイ人学生ら